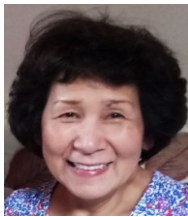


11 月理事会だより

11 月の理事会での討議事項 (理事会 11 月 7 日)
抜粋

- ❖ **12月1日** (土) 午後1時より恒例 JA 忘年会開催。
- ❖ 辻阪高子日本大使館総領事に英国日本人会名誉会長としての承諾をいただく。
- ❖ 竹中福祉部長、12月に理事、部長を辞任にあたり、田口晴恵氏を新福祉部部長として、また同氏を理事として承認。



田口晴恵さん

☆ ☆ ☆

辻阪英国日本人会名誉会長のご挨拶

本年 8 月に在英大使館の総括公使兼総領事として着任しました。このたび、20 年以上の長い歴史を持つ英国日本人会の名誉会長に就任することになり、大変光栄に思います。

9 月に行われました Japan 祭りに参加させていただきましたが、その規模、集客数に圧倒されました。これを毎年続けておられるとは本当に素晴らしいことと思います。英国日本人会のホームページや会報誌を拝見させていただき、Japan 祭りのみならず様々な分野で幅広くご活動されておられることを知りました。微力ながら皆様のご活動の一助となれるように努力したいと思います。

皆様には大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

在英日本国大使館総領事 辻阪高子



会員部からのお知らせ

今月は 4 名の新入会員がありました。

新入会員 敬称略

クルック 寿美子(743)、ギレスピー 礼子(744)
大村 直子(745)、東條 かおり(746)

退会者 12名 (年会費更新時)

現在会員数 メール会員 233名 文集郵送希望会員 47名 文集・会報郵送希望会員58名 (名誉会員含む) 計338名 (未更新者10名を含む)

毎月 15 日までに申し込まれた新入会員が会報に記載されます。

JA 会員特典協賛店

JA 会員特典協賛店詳細につきましては JA のウェブサイトをご参照ください。

<http://japanassociation.org.uk/ja-会員特典サービス協賛店リスト/>

協賛店詳細は随時ウェブサイトを更新しております。その月限定の特別オファー等も掲載しています。また、お知り合いで協賛店に参加されたいとお考えの方がいましたら、是非お知らせください。尚、組織、会則をご希望の方には配信いたしますのでご連絡ください。

電話 07957548023 会員部 ウィンター 千津子

[メール membership@japanassociation.org.uk](mailto:membership@japanassociation.org.uk)

☆ ☆ ☆

11 月度二水会報告

開催日、11 月 12 日 (水)

当月は日本の 2020 年の東京オリンピックメインスタジアムのデザイナーとして選ばれたグローバルで活躍のザハ ハディド氏 (建築費に膨大な費用が掛かるという理由で最終的には彼女のデザインは他のデザインに差し替えられた) の建築事務所で建築士として働かれています井関武彦様に斬新なデザインが特徴なザハ氏の世界について多くの完成建物、建築中の建物の写真を交えながらお話し頂きました。

その中でも興味深かったのは自動車工場の生産ラインが社員食堂（休憩所）の上を通っていることの新しいコンセプトなど私たちの持つ世界に一つの窓を開けさせてくれました。

当日は New Castle 大学で建築を学びために留学中の学生さんがわざわざこの講演に参加するためにお出でになったり、ほかにもロンドンの大学で建築を学んでいる方も参加されて、講演の後の懇親会も和やかな中、活発な質問が出たり、本年最後の二水会も無事に終わりました。
参加人数は 19 名でした。



井関武彦氏は語る

12 月はおやすみですが、新しい年は **1 月 9 日（水）** を予定しています。

皆様、いい年未年始のお休みをお過ごしいただきたく 2019 年にお会いできますこと楽しみにしています。

今後の予定

12 月はお休み

1 月—38 万キロからみたダイナミックな地球、原発を考える 飯塚忠治
2 月—「ニュースの??」演題未定、日本テレビ英国ビュウローチーフ 亀甲博之様

☆ 講演の後の講師をお囲みしての懇親夕食会も予定しています。この二水会で多くの方たちとお知りあいになっていただき、英国生活を楽しいものにしていただければ幸いです。

☆ ☆ ☆

紅葉会 10 月の報告

日時 10 月 25 日（木）13:45-16:00
場所 Bloomsbury Baptist Church 地下 1
司会 ギブソン小池和子
受付 デニヤ葉子、飛田まゆみ
お茶当番 竹内みどり、有志
会計 フィップス勢津子
レポート 田村陽子
B&B 藤田幸子、ジョンソン妙子

第 1 部

参加者合計 32 名 新会員 2 名
クルーク寿美子さん、下条智恵子さん
非会員ゲスト 6 名
各部お知らせ 報告を参照

Let's sing together

指揮 田村陽子 ピアノ ウィンター千津子
10 月誕生日 クルーク寿美子さん、藤田幸子さん
10 月の歌 『里の秋』 『もみじ』
みんなの体操

第 2 部 今月のイベント『テーブルコーディネートを楽しみましょう』

テーブルコーディネート教室を主宰されている岡部じゅんこさんにお話しいただきました。テーブルコーディネートという言葉は、実は日本人が作ったものだそうです。そしてそれは高級で敷居が高いものではなく、日常のちょっとした工夫でお食事がより楽しくなるための演出であるとのこと。キャンドルやテーブルクロスを替えたり、何か好きなものを 1 点テーブルに置くことから始めては、とのご教示でした。

フォーマルなナプキンの折り方は？など true or false クイズをしてから、実際に花や葉の飾り方や、テーブルマットの置き方、ナプキンの折り方を様々替えることなどでどんな効果があるかをご説明いただきました。そして 3 種類のナプキンの折り方を実習しました。この日はハロウィンが近いので会員の皆さんオレンジと黒の装いで決めてくれました！



紅葉会 12 月はお休みです。1 月 24 日の紅葉会は会員の新年会となります。

紅葉会例会これからの予定

2019 年 2 月 28 日 ティーマスター 飯白福人さん
2019 年 3 月 28 日 演歌歌手 望月あかりさん
2019 年 4 月 25 日 魚屋プリヒル姉さん ベルトン由香さん

TEAM SMILE 部 (青年部)

◆TEAM SMILE「ジャンヌ・ダルク」新年会のお知らせ

日程:2019年1月19日(土)18:30~

場所未定 (参加人数次第で決定) 次回会報をご覧ください。

※参加ご希望の方は 鈴木

naomisuzuki7@icloud.com までご連絡下さい。

◆2019年からの展望

TEAM SMILE 部は、●シニアとキッズの集い「SKT88」●頑張る女性の会「ジャンヌ・ダルクの会」を不定期で開催しています。

2019年からは、講演会やカンファレンスも開催していきたいと思っておりますので、是非ご参加下さい。

詳細は、

・会報

・Web <http://japanassociation.org.uk/>

・Facebook ページ

<https://www.facebook.com/japanassociation/> でお知らせいたします。

担当・お問い合わせ: TEAM SMILE 部/広報部
鈴木ナオミ naomisuzuki7@icloud.com

☆ ☆ ☆

福祉部だより

福祉部活動報告

2018年11月7日、定例のファームストリート教会小会議室にて、新部長の下、福祉部11月例会が8名の参加で開催。①テリー田口新部長のご挨拶 ②次年度の担当者の選出、③各支部より見守りプロジェクト報告が討議された。

- ① 新部長は、選出後初の例会でもあり、「福祉部員の協力と支援を得て、福祉活動を頑張りたい」と熱い口調で抱負を述べられた。
- ② 担当者選出については、東西南北の支部担当者全員の続投が確認された。
- ③ 見守りプロジェクト報告

東支部: 11月3日の東支部懇親会にご高齢のT会員、D会員、M会員、F会員、M会員が勢ぞろいされた。T会員は、遠路はるばるカンタベリーからの参加。F会員は10月に90歳のお誕生日を迎えられた。新年に親しい会員と東支部担当者がご自宅を訪問する予定。M会員は、杖を使って奥様とご一緒に散歩を楽しまれるとのこと。気候が暖くなる来年には紅葉会に参加を希望。寝たきりのY会員を

担当者3名が日本食持参でお見舞。涙ながら『また来て下さい』と懇願された。

西支部: 認知症で施設入居中のM会員は、前回より表情がなくなり、居眠りが増えたことが心配される。先月入会で認知症のP会員を担当者3名が見舞った。ご主人も同席されたが、日本語の方が楽とか、ご主人も日常会話程度の日本語を話されるので問題はない。脳梗塞の後遺症で左腕が不自由で体が前後に揺れるのが気になった。

南支部: 担当者2名が欠席だったため、報告がなかった。

北支部: M会員は、10月にGPと面談の結果、2週間程の入院の末に退院された。ご家族が遠方のため、看護師/ケアラーの訪問介護が実現。緊急時には、ご本人から北支部の担当者に連絡することで了解。P会員は、薬のせいで疲れやすいとのことだが、回復したら映画会に参加を希望。C会員はご家族がお世話されるので安心だが、助けが必要な場合はご自身から連絡との意向に従う。W会員は、畑仕事やドライブもされるほどお元気とのこと。

その他決定事項

支部会員リストの修正と更新の時期を迎え、F会員が担当に決定。

見守りプロジェクトは、高齢者に限らず、闘病中や体調不振の会員にも手を差し伸べることが望ましい。12月8日に予定されていた福祉部・ナルク合同忘年会は、新旧両部長不在で中止となり、**新年12日**(土)に新年会を開くことに決定。(ヴァンダースケイフ作成)

支部懇親会報告



東支部

前回の懇親会が8月にあったので、11月3日にさらに開催するには間が短すぎるという懸念はありましたが、13名の参加でホッとしました。今回は92歳、87歳、82歳、と丁度5歳ずつ間のある人生大先輩のご参加があり、そのお元気な姿に60後半から70代の我々は大いに学ばせて頂きました。今回初めて東支部懇親会に参加された会員の方から、名札があると覚えやすい、という知恵を頂きました。次回からは是非とも実行したいと思います(田口晴恵)

西支部

次回は2月ごろを予定しています

文集部よりのお知らせ

文集『英国春秋』秋号（No33）を文集又は“スクリーン文集”でお楽しみいただいていることと思います。

次号、春号の原稿を下記要項で募集いたしますので、奮ってご投稿下さい。文集発行は4月初旬を予定しています。



『英国春秋』2019年春号（20周年記念号）

タイトル：フリー又は春号特集「未知の世界」
予知能力（予感、虫の知らせ、胸騒ぎ、正夢）、テレパシー、念力、透視、無意識の世界、デジャヴ、臨死体験、ブラシーボ効果等、これらはごく身近に聞かれる言葉ですが、さて説明するとなると、ちょっと困ってしまいそうな事柄です。ご自分の体験談、知人・友人の体験談、そしてこれらについてのご意見等をお聞かせ下さい。

原稿締切： **2019年3月15日**（ただし原稿は随時受付）
字数： A4 2～3枚（出来ればワード添付）
送付先：ogawa@japanassociation.org.uk
または Mrs M Hodgson
492 Canterbury Way, Herts, SG1 4ED までお願いします。

☆ ☆ ☆

同好会報告とお知らせ

第29回食べ歩き会

21 September 2018
Tierra Peru

第3回食べ歩き会 Lima に次いで、今回は2回目のペルー料理の経験で13名が参加。ミシェランスターの Lima とは違った家庭的なメニュー、スターターのチェビーチェ、メインのロモサルタード、をいただき、フレンドリーなサービスで皆ガヤガヤ騒いでも ok などところもとても気に入りました。

歩く会

12月の歩く会はお休みです。

テニス同好会

11月14日、今年最後のテニス同好会の日、気温14度、肌寒い中6名の参加で行いました。晴天であったものの、やはり11月。ジツとしていると寒さを足元から感じ、動きも何となく鈍くなる中、1人大いに笑わせてくれる人がいて、一球毎に冗談を連発するので皆が吹き出し、寒さが吹き飛んでしまいました。体を動かす事も大切ですが、笑う事は体も心も温まるのを改めて感じた楽しい一日でした。

12月から来年3月迄、テニス同好会はお休みです。来年4月第2水曜日に再開の予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

10月俳句を学ぶ会

日時：10月18日（木） 13:30より
出席者 10名、季題は『月夜』
てきばきと会が進みいつもより早めに終了しました。

一幼き日姉と影踏み月夜路
小野 宣美
なつかしい風景が詠めました。



一秋詫びや庭仕事の夫愛おしき
デニヤ 葉子
ほのぼのとした情景ですね。

一異国へと子を送りだし月仰ぐ
ウイラー 由美
母の切ない心意がでています。

11月の季語は「木の実雨」です。

俳句を学ぶ会 12月のお知らせ

日時： **12月20日**（木）13.30
場所： Royal Festival Hall 6F
*12月の季語「冬日和」
連絡先： クーパー 矩子 0207 828 5255
出席できない方は Cooper までご連絡ください。

スマホ同好会

皆さんでお茶菓子を持ち寄りお喋りに花が咲き、毎回あっという間に時が経つ和やかな会です。わからないことを遠慮なく質問したり、最近発見したことを皆さんにシェアするなど、参加者の全員が平等に発言して、情報交換できる会です。特に今更耻ずかしくて誰にも聞けない質問大歓迎です。新規参加希望者は幹事の浜口まで連絡をお願いします。

次回は下記の通りです。

11月27日(火)、12月11日(火)、1月8日(火)、1月22日(火)

時間: 毎回12時から3時まで。

場所: レストラン「夢の木」204 Fulham Road, London, SW10 9PJ Tel: 020-7351-2777
最寄駅: Earl's Court Tube Station, Bus 328 or C3 駅前で乗車。Fulham Road 手前のバス停で下車。進行方向の左に曲がって Chelsea & Westminster 病院の斜め前。

または、South Kensington Tube Station, Bus 14 or 414 バス停 T 乗車、バス停 HA Chelsea & Westminster 病院で下車。

連絡先: 浜口

E-mail: rie036@gmail.com

Mobile: 07939254277

映画鑑賞会

11月20日(火)

映画会幹事役の三人を始めこの時期は多くの会員が里帰りの為、参加者9名と言う少数でしたが上映作品「華岡青州の妻」は大好評でした。

映画同好会主催『年忘れカラオケ大会』!!!

今年も残すところ一ヶ月余、思い出深い映画の上映をし、映画愛好家の皆さまと、映画の素晴らしさに感動し、青春時代を語り合いました。来る新年度も新たなリーダーを得て、益々充実してまいります。私ども映画同好会の役員・スタッフ同一致団結して皆さまの期待に添えるよう頑張っていきます。こうした事も含め、ロンドンにおける「日本人会」の彌栄えます事を祈念し楽しい年越しをしたいと思ひます。

2時間余りの時間ですが、智恵を絞って企画して見ました。私どもの青春時代(昭和40年から50年代)に流行した歌謡曲を網羅して、およそ70曲の演歌、フォークソングなど有名プロ歌手に併せて全員で唄いましょう!

- 1、日時 : **12月18日**(火曜日/映画「秋刀魚の味」13:00~15:30 上映終了次第) 16:00 スタート
- 2、場所 : Farm Street Church 別館 地階大ホール
114 Mount Street, London W1
- 3、会費 : ●映画同好会員
①映画会出席者:
映画会込みで£6 / 映画鑑賞のみ £4
②JA 会員:
カラオケ大会のみ出席 £5
●その他非会員: £7
スナック、飲み物付

参加お申込みは妙子 Johnson まで

メール: taekoj@hotmail.co.uk,あるいは電話 **07468858220** でお願ひします。尚、締切は **12月10日**です、沢山の会員の参加を期待しております。

スケッチ会

11月14日、チャールズ皇太子の誕生日と重なった。公園の入口で儀式に出発する砲兵隊の凛々しい馬上の若者達の一団に出会った。ずいぶんハンサムが多い事と思って良く見ると何と女性ではないか。それもかなりの人数が居るのには驚かされた。

穏やかな好天 ロンドンの紅葉は“黄葉”が多い。葉はほとんどが落ちていたが残っている木の葉は午後の逆光に映えて輝いていた。ハイドパークの南東から入り、サーペンタインの水際を歩きダイアナ記念公園を北に上がり ギャラリーを見学しランカスターゲイトに抜けた。来月からは“地下鉄散策スケッチ”と変え 地下鉄の始発駅と終着駅を始めフリーダムバスを使って行った事のない場所に出かけミニウォークを兼ねたスケッチにする予定。絵を描かない人達の参加も歓迎。



今月の作品



ハーティ ミエ



竹内 みどり



スタンディング 百合子



グリーブス 邦子



山本郁子



シェイラ 文野



古沢 いくこ



山下 美保子



ビドル 恵

<合唱カラオケ>

- 1 12月6日 (第1木曜日) 13:00~16:00
- 2 カラオケ エポック
- 3 30 Brewer Street, London W1F OSS 徒波書房の奥
- 4 飲食持ち込み自由
- 5 竹内 07774 476 293

各種イベント参加者へのお願い

イベント参加中に起きた怪我・事故は自己責任において処理され、主催者の責任でないことをご了承ください。

2018・2019年の行事予定

日付	行事予定
11月27日 (火)	スマホ/iPad/iPhone
12月1日 (土)	JA忘年会
12月6日 (木)	合唱カラオケ
12月11日 (火)	スマホ/iPad/iPhone
12月12日 (水)	JA会報原稿締め切り
12月12日 (水)	地下鉄散策スケッチ
12月18日 (火)	映画鑑賞会/カラオケ大会
12月20日 (木)	俳句を学ぶ会
1月8日 (火)	スマホ/iPad/iPhone
1月9日 (水)	二水会
1月12日 (土)	福祉部+ナルク新年会
1月19日 (土)	ジャンヌダルク新年会
1月22日 (火)	スマホ/iPad/iPhone
1月24日 (木)	年次総会・新年会(紅葉会)
2月26日 (火)	「スタンドアップコメディアンゼンじろう」の公演
3月15日 (金)	文集春秋締め切り

その他同好会のお知らせ

- 1、開催日時
- 2、場所
- 3、住所
- 4、詳細
- 5、担当者
- 6、備考

<地下鉄散策スケッチ>

- 1 12月12日 (第2水曜日) 11:30
- 2 Epping (Central Line)
- 3 改札口 集合
- 4 今月より新しく開始 地下鉄の始発駅と終着駅に行く まだ行った事のない所に挑戦、インフォメーションを利用し 名所旧跡など 皆んなで決め 散策する
- 5 竹内 07774 476 293
- 6 特に無し

編集後記：

11月は急激に冬に向かうためか JA 内の活動も少なかったようです。会報の紙面に余裕がありますので、昨年の11月から1年ぶりに栄養士のマダムUに登場していただき、私たちの食生活に切り離せない【油の話】をしていただきます。

油はカロリーが高く摂りすぎは肥満に直結のイメージの悪い食品ですが、体の中で合成出来ない必須脂肪酸は食品から摂るべき大事な栄養素です。そこで油の種類を選ばないとただ無駄になります。では必須脂肪酸(オメガ3系、オメガ6系)とはどんな油でしょうか？

飽和脂肪酸（主に動物性脂肪）不飽和脂肪酸（主に植物性脂肪）に大きく分類され必須脂肪酸が含まれているのは主に不飽和脂肪ですが、ヘルシーそうな植物油はデメリットもあります。コレステロールがゼロとか謳う健康油も登場して健康を謳った高級マーガリンも曲者で、高いお金を払う必要はありません。

必須脂肪酸のうちオメガ 6 系【リノール酸】（紅花油、大豆油、コーン油、ヒマワリ油）は安価で現代の食生活では油料理が多い食環境なので実は寧ろ減らしたい油です。オメガ 6 系とオメガ 3 系の理想的割合が 2:1 だからです。そこで積極的に摂りたいのが**オメガ 3 系油**【 α -リノレン酸】で**エゴマ油**、**シソ油**、**亜麻仁油**と聞きなれないものばかりで、長期保存がきかず熱に弱く高価と嬉しくない条件そろいますが、**オメガ 3 系をドレッシングとして使えばオメガ 3 のサプリメントよりも手軽です**。オメガ 6 系の油を減らす為に、バターも少量使い、魚を積極的に食べるのが良いでしょう。

さてさて魚の油は何？

魚（主に青魚）に含まれる脂肪の DHA や EPA はオメガ 3 系です。脳の 65%は脂肪できており、情報伝達を担う細胞膜にはオメガ 3 系脂肪酸が必須。

オリーブオイルは何？

オリーブオイルはオメガ 9 系【オレイン酸】が多くオメガ 9 系は体の中で合成されますのでオリーブオイル油が健康に必須な訳ではありませんがオメガ 6 系摂取を控える為と風味で人気です。

食べていけない油【トランスオイル】マーガリン、ファットスプレッド、ショートニング等の加工油脂はトランス脂肪酸で体に害があります。ペーストリーや菓子パン等に多く使われています。

☆ ☆ ☆

もう 1 つ、会員のご厚意で旅行記を掲載します。

行ってきました！！



最近 ITV のジョアンナ ラムレイとか BBC のシルクロードなどで話題になったウズベキスタンに行ってきた。あまり予備知識なしだったので、いろいろびっくりの国だった。首都タシケントまではロンドンから飛行機で約 7 時間。ほとんどの国民がモスレ

ムと聞いていたのだが、機内食にいきなりワインが出てきてまずびっくり。

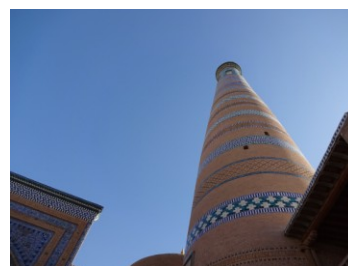
旅行会社が Saga だったので、お年寄りが多いとは言え同行者が 50 以上ならいいとのこと、40 代 50 代もちらほら。上は 80 代だろう。旅行代金は 9 泊 10 日で 1800 ポンドぐらい。いいところは家まで迎えに来てくれるところだろう。しかしながら私など家から車で 40 分。スコットランドの北西の外れから来たカップルはエディンバラまで一日かかり、ホテルに泊まってヒースローまで来たとのこと。これも全部 Saga がだしてくれる。その他ウェルズの端、とかデボンとかからもいる。つまり私たち近いものが補助しているのだ。私にとっては初めての Saga だったが、これは疑問。旅程はヒヴァ、ブハラ、サマルカンド、タシケントと要領よく回って文句の言いようがない。ガイドもよく勉強していて、ちょっとうるさいぐらい喋り捲る人だった。

ビザは今年の春から日本人は 30 日以内なら必要がなくなった。イギリス人は必要でこれも Saga が取ってくれたという。これも必要ない日本人には少し安くしてくれてもいいところ。



最初はヒヴァという古い町。ここは泥の壁に囲まれた町。一番目につく建物はカルタミナルという巨大な円形

の塔。これは 19 世紀にできたもので本当は百メートルになるはずが 26 メートルで今だ完成していないというもの。全体に青いタイルが貼ってある。ウズベキスタンの建物はほとんどが 20 世紀から 20 世紀にかけて修復されていて、どれもピカピカ。古いものをそのまま尊重することなどしないようだ。このカルタミナルもそのうちに百メートルまで足されるのではないかな。街の中にはモスクとか裁判所とかが多く、皆青いタイルとが美しい。下の方のタイルははがれてしまったらしく、ちょっと色の違ったタイルが貼ってある。よく見るとかなりズボラな貼り方だけれど、少し遠くから見れば気にならない。



天井は赤、青、緑とか色とりどりでこれも美しい。どういうわけか各天井の真ん中がへっこんでいて穴になっている。裁判所には扉が三つあり、裁判の後

右の扉から出ると無罪、左だと死罪とのことだ。真ん中は刑務所だろうか。

街の中は観光客とお土産屋ががいっぱい。店ではみんな熱心で、しつこいぐらい。ちらっとでも目をやるとすぐディスカウントと叫ぶ。すぐに半額ぐらいになってしまう。毛皮の帽子が沢山売っていて、皆でかぶって遊んできた。数人は買ったひともある。たしか 25 ドルぐらい。安くはないが、本物の毛皮でものすごく暖かいようだ。

通貨はスムと言ってードル 8300 ぐらい。とにかくお札の数字が大きくて戸惑ってしまう。お札は 1000、5000、10000 が多く硬貨はほとんど見ない。大体一ポンド一万スムというところ。あるオジサンなど大量にお札を抱えていて、見るたびにお札を数えていたのだけれど、毎回間違っていたようだ。

建物とかの中を撮影したかったら、ほとんどお金がかかる。大体五千のことが多いが、時には一万もあった。トイレに行くにもお金がかかりこれは干スム。全部入口に番人がいる。時には田舎の方では番人がトイレットペーパーをくれる。これがゴワゴワのひどいものが多いので、ティッシュを持ち歩くのがいいだろう。不思議なことにトイレに錠がないことが多い。番人が見てくれているところもあったが、入ったら自分でドアの取っ手とかをつかんでやるのだけれど、安心はできない。私の同行者は一度やっている途中でドアを開けられたとのことだ。

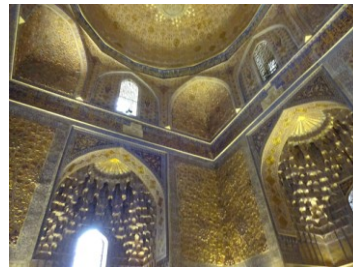
大きいレストランはさすがにトイレはタダだけれど、最後に行ったレストランのトイレにも錠が無かった。田舎のほうのトイレではしゃがむ方式のものもあった。私たちの一行にはお年寄りが多く、足腰の悪いひとでも数人いたので、彼らはしゃがんだら起き上がれないのではないだろうか。しゃがんでいる時に開けられたら悲劇だ。穴式でも前に金隠しがあるわけではないので、やたら汚かった。幸いにもこれはたった一度経験しただけですんだ。こういうトイレは洋式が一つであとは穴式という事らしく、次からは待たなければならなくても洋式に入った。



土産物屋とかバザーでは大体ドルで考えるようで、8千が単位のような。つまりドルもとるけれど、スムでのほうが少しだけ安くなる。ある店でなにか買ったとき、値切ってみたら安くしてくれたので、五百だか干スムのお札があったのでそれも上げようとしたら、そんなはした金はいらぬ、と断られてしまった。

地元のヒーローは 15 世紀にこの辺を征服したティムールでどこにでも彼の像が立っている。サマルカ

ンドのティムールのお墓は内部が金ぴかぴか。これ



も 20 世紀に修復しものだ。彼は戦争で右手に怪我をして指三本が短くなってしまった。膝も痛めている。このことが 20 世紀に墓を発掘したときにこの人骨が

ティムールだという証明になったということだ。ガイドによると、ティムールの墓を発掘すると世界的災難が襲い掛かる、といわれていた。これは第二次世界大戦の始まりと重なる。彼をまた埋葬したのが 1944 年だか 45 年で、この年は大戦が終わった年である、ということだ。

彼の妻たちの眠っているところは建物が十か二十集まっているところで、内部は美しく装飾されているところとか(たぶん最近やり直したのだろう)全く装飾のないものとかがある。内部は数人の墓があり、ところによるとお費銭のつもりかお札とか硬貨が墓の上に置いてある。しかし見ると 500 とか千とかのお札で、つまり 10 ペンスぐらい。夜閉まったら番人がもらうだろう。ティムールの奥さんのお墓の内装は藤色と白でとてもきれいだった。

ウズベキスタンの気候はもっと寒いのかと思ったら、そうでもなかった。私の行った 11 月の初旬は昼間は 10 数度にもなり、ロンドンより暖かかった。夜になると寒くなり時には零度ぐらいにも下がった。ついた日はちょっと曇りで雨もちょっとポツポツだったが、次の日からほとんど毎日晴天で真っ青な空がきれいだった。

アーチのある建物の後ろに巨大な青いドームのあるところが多いが、これは昔の学校だったそう。このドームはつるつとしたものと、縞状にせりあがったものがある。今ではアーチをくぐると周囲全部がお土産屋というのが多い。お土産はどの店にいっても全く同じものを売っているの、そんなに見歩かなくてもいい。(もしかしたら全部中国製だったりして)。私は色とりどりの模様のあるコーンフレークを食べるのにちょうどいい器を買ったけれど(値切って 2 ポンドぐらい)、同じようなモノが帰りの飛行場の Duty Free の店にもあり、さんざん値切って買った値段より安かったのがっくり。とにかくどこに行っても値切らなくてはならないのでしんどい。店員はみなものすごく商売熱心でいらぬと言っても追いかけてくる。(S.K)

この続きは 12 月号に掲載します。お楽しみに。

了